

		チェック項目	はい (%)	どちらとも いいない (%)	いいえ (%)	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	子どもの指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			
	2	職員の配置数は適切であるか	100			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	83	17		・建物、土地の構造上、常時スロープを設置しておくことが困難な為、必要な時に可動式のスロープを準備している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100			
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			・外部研修(ビジョントレーニング、意思決定支援研修、SST研修など)に参加した。 ・内部研修(虐待防止、ハラスメントなど)を実施した。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100			
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			
	11	活動プログラムが固定しないように工夫しているか	100			
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100			
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			
	15	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100			・
16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100				

	17	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100			
	18	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか。	100			
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100			
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	83	17		学校を卒業する児童がいなかった。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100			
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	83	17		・イベントでは、中高生のボランティアやきょうだい児、地域の子どもの受け入れをおこない、交流の場としている。
	25	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100			
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			
関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	83		17	・事業所内でのペアレントトレーニングは行っていない。 ・要望に応じて、上益城地域療育センターのペアレントトレーニングを紹介している。
	28	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	83	17		・保護者参加型のイベントを開催し、保護者の交流の機会としている。
の説						

	31	子どもや保護者からの相談、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			
	32	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			
	33	個人情報に十分注意しているか	100			
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100			
	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	100			
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	100			
非常時等の対応	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100			
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			

令和6年3月実施